

(別添資料 2)

愛知県基幹的広域防災拠点整備等事業
(第 2 期・防災公園)

審査講評

2026 年 2 月

愛知県基幹的広域防災拠点整備等事業 (第 2 期・防災公園)

P F I 事業者選定委員会

愛知県基幹的広域防災拠点整備等事業（第2期・防災公園）（以下「本事業」という。）PFI事業者選定委員会（以下「委員会」という。）は、本事業の事業者選定に関する事項を審議・審査するため、愛知県（以下「県」という。）により設置されました。

第1回委員会を2025年4月18日に開催して以降、約10カ月にわたり「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」（平成11年法律第117号。以下「PFI法」という。）に基づく実施方針や入札説明書等について審議を重ねるとともに、応募グループの提案内容について厳正かつ公正な審査を行い、最優秀提案者を選定しました。

提案内容は、愛知県防災公園の設計、建設、運営、維持管理の各業務について、応募グループのノウハウや創意工夫が発揮された提案となっており、県の要求水準を十分に上回ったものでした。応募グループの事業提案書作成にあたっての熱意と努力に敬意を表します。

ここに、審査結果について講評し、本事業がPFI事業として事業期間にわたり安定的かつ円滑に継続され、本事業の目的が達成されることを期待します。

2026年2月9日

愛知県基幹的広域防災拠点整備等事業（第2期・防災公園）PFI事業者選定委員会
委員長 加藤 義人

目 次

1 本委員会の目的、所掌、審査方法、構成について.....	1
(1) 目的.....	1
(2) 所掌.....	1
(3) 審査方法.....	1
(4) 構成.....	1
2 本委員会の開催及び審議・審査の経緯.....	3
3 事業提案書の審査経過	4
(1) 資格審査.....	4
(2) 個別対話の実施.....	4
(3) 提案審査.....	4
4 事業提案書の審査の方法.....	6
(1) 入札価格の評価【15点】	6
(2) 性能等に関する評価【85点】	6
(3) 最優秀提案の選定	12
5 審査結果	13
(1) 入札価格評価点.....	13
(2) 性能等に関する評価点.....	13
(3) 最優秀提案者の選定.....	15
6 審査講評	16
7 総評	19

1 本委員会の目的、所掌、審査方法、構成について

(1) 目的

本委員会の目的は、PFI法に基づいて本事業を実施するに当たり、公正性、透明性及び客観性を確保して事業者を選定することにあります。

(2) 所掌

委員会は、次の事項を所掌とし、その検討結果を愛知県知事に報告しました。

- ア 実施方針に関する事項
- イ 特定事業の選定に関する事項
- ウ 民間事業者の募集・選定に関する事項
- エ 入札書の審査、評価に関する検討
- オ 落札者の選定に関する検討
- カ その他事業者選定に関し、必要な事項に関する検討

(3) 審査方法

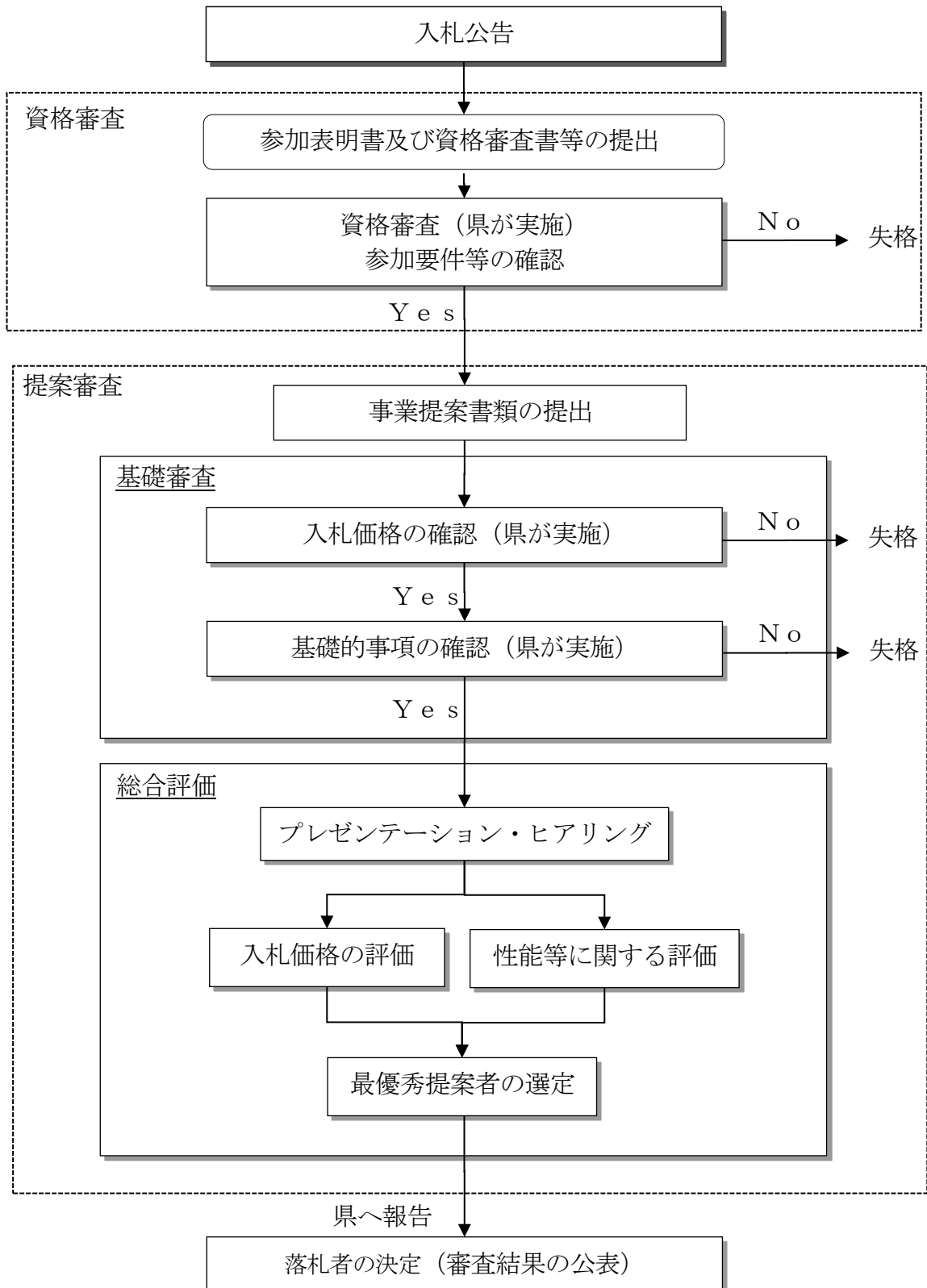
審査は、第一次審査として入札参加資格の有無を判断する「資格審査」、第二次審査として提案内容の評価する「提案審査」の2段階にて実施しました。「提案審査」は、入札価格や要求水準書に示す内容を満足しているか否かを確認する「基礎審査」と、提案内容の水準を様々な視点から総合的に評価する「総合評価」を行いました。(図1参照)

(4) 構成

県が設置した委員会は、以下の委員により構成されます。

- | | |
|------|--|
| 委員長 | 加藤 義人 (岐阜大学工学部客員教授) |
| 副委員長 | 福和 伸夫 (名古屋大学名誉教授・あいち・なごや強靱化共創センター長) |
| 委員 | 稲田 眞治 (日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院救命救急センター長) |
| 委員 | 柄谷 友香 (名城大学都市情報学部都市情報学科教授) |
| 委員 | 山形 康郎 (関西法律特許事務所弁護士) |
| 委員 | 安藤 敏毅 (豊山町副町長) |
| 委員 | 富安 精 (愛知県防災安全局長) |

図1 落札者決定までの流れ



2 本委員会の開催及び審議・審査の経緯

本委員会は、第1回（2025年4月18日）から第5回（2026年2月9日）まで全5回開催し、事業者選定に関する事項の審議・審査を行いました。本委員会の開催及び落札者決定までの経緯を表1に示します。

表1 本委員会の開催及び落札者決定までの経緯

日 程	内 容
2025年4月18日	第1回事業者選定委員会開催 （委員会の進め方、事業の概要、マーケットサウンディングの結果、実施方針案）
2025年4月25日	実施方針の公表
2025年4月25日～5月16日	実施方針に関する質問の受付
2025年5月27日	実施方針に関する質問回答の公表
2025年6月26日	第2回事業者選定委員会開催 （入札説明書、要求水準書、事業契約書案等の公募資料及び審査方法、事業者選定基準）
2025年7月7日	特定事業の選定の公表
2025年7月8日	入札公告、入札説明書等の公表
2025年7月11日～7月18日	入札説明書等に関する質問の受付
2025年8月6日	入札説明書等に関する質問回答の公表
2025年8月6日～8月25日	参加表明書の受付、参加資格の確認
2025年9月1日	資格審査結果の通知
2025年9月29日～11月4日	入札説明書等に関する個別対話
2025年11月5日	個別対話に関する回答の公表
2025年12月17日	第3回事業者選定委員会開催 （参加資格審査結果の報告、提案審査の進め方）
2025年12月26日	入札の執行、事業提案書の受付
2026年1月30日	第4回事業者選定委員会開催 （基礎審査結果の報告、プレゼンテーション、提案内容に関する審議）
2026年2月9日	第5回事業者選定委員会開催 （最優秀提案者の選定、県への報告）
2026年2月13日	落札者の決定及び公表

3 事業提案書の審査経過

(1) 資格審査

2025年8月25日までに表2の2応募グループから参加表明があり、応募グループから提出された参加資格申請書類等をもとに、県は入札説明書に記載する参加要件及び資格要件等の具備を確認しました。その結果、いずれの応募グループも参加資格が確認されました。

表2 参加表明を行った応募グループの概要

応募グループ名	大和リースグループ	あいち防災パートナー
代表企業	大和リース株式会社名古屋支社	前田建設工業株式会社中部支店
構 成 員	株式会社オノコム名古屋支店	エリアワン株式会社
	ホームックス株式会社	サンエイ株式会社
		岩間造園株式会社
協力会社	株式会社日総建中部事務所	鈴中工業株式会社
	高野ランドスケーププランニング株式会社	太啓建設株式会社
	広建コンサルタンツ株式会社	日本工営都市空間株式会社
		株式会社現代建築研究所

なお、構成員とは本事業を実施するために設立される特別目的会社（SPC）から直接、業務の受託・請負をし、かつSPCに出資する企業を指します。協力会社とはSPCから直接に業務の受託・請負をするが、SPCに出資しない企業を指します。また、構成員の中から、代表となる企業が代表企業となります。

(2) 個別対話の実施

2応募グループから個別対話実施の希望があり、県と応募グループとの意思疎通を図るため、2025年9月29日、10月1日、10月17日、10月24日及び11月4日に県と各応募グループとの間で個別対話を実施しました。

(3) 提案審査

ア 入札書及び事業提案書の提出

2025年12月26日に入札を執行し、2応募グループから入札書及び事業提案書が提出されました。

イ 基礎審査

県は2応募グループの入札価格が予定価格の範囲内であることを確認しました。

また、県は2応募グループの提案内容が基礎的事項及び要求水準の内容を満たしていることの確認を行いました。

なお、基礎審査に当たり提案内容の確認が必要となった事項については、県から2応募グループに対して文書にて確認を行い、2026年1月23日に回答の提出を受けました。

以上の基礎審査結果について2026年1月30日に開催された第4回委員会で県から報告されました。

ウ 総合評価

(ア) ヒアリング

第4回委員会において、各応募グループの提案内容についてヒアリングを実施しました。ヒアリングは、提案内容に関するプレゼンテーション約20分、質疑応答約30分により実施しました。

(イ) 入札価格の評価

2応募グループの入札価格に対して入札価格評価点を決定しました。

(ウ) 性能等に関する評価

2応募グループへのヒアリングを踏まえた上で、各委員が提案内容の審査項目ごとに採点し、各委員の評価点の平均値により、委員会としての性能等に関する評価点を決定しました。

(エ) 最優秀提案者の選定

入札価格評価点と性能等に関する評価点を合計して総合評価点を算出し、総合評価点が最も高い提案を行った応募グループを最優秀提案者として選定し、その他の順位を決定しました。

4 事業提案書の審査の方法

(1) 入札価格の評価【15点】

入札参加者の入札価格は、以下の考え方にに基づき得点化を行います。なお、算出された得点の小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位までの数値とします。

$$\text{入札価格評価点} = 15 \text{点} \times (\text{入札参加者中最低の入札価格} / \text{各入札参加者の入札価格})$$

(2) 性能等に関する評価【85点】

提案内容を表3に基づき採点します。

なお、提案内容の品質を確保する観点から、委員の採点結果の平均が42.5点未満であった場合は、最優秀提案を選定しないこととします。

表3 審査項目ごとの採点基準

評価	評価内容	採点基準
A	特に優れている	各項目の配点×1.00
B	優れている	各項目の配点×0.75
C	標準的である	各項目の配点×0.50
D	やや劣っている	各項目の配点×0.25
E	劣っている	各項目の配点×0.00

提案内容の審査項目及び配点は表4のとおりです。

表4 提案内容の審査項目及び配点

① 計画全体に関する事項（配点12点）

審査項目	評価の視点	配点
本事業実施の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・平常運用時は、公園として日常的な健康づくりやスポーツ、レクリエーションを楽しめる場や、憩い・交流の場を提供し、賑わいの創出による地域の活性化や、地域コミュニティの繋がり強化、地域における交流を生み出すための優れた考え方が示されているか。 ・拠点運用時は、自衛隊や警察などの救出・救助部隊、及び TEC-FORCE のベースキャンプのほか、支援物資の受け入れ、供給に必要な物資ターミナルとして機能の確保など、各施設の役割を果たすための優れた考え方が示されているか。 	2
実施体制、事業の継続性	<ul style="list-style-type: none"> ・防災公園の設計から開園準備、平常運用時の運営・維持管理、拠点運用時の運営・維持管理について、具体的かつ実績を踏まえた実現可能性の高い実施体制が示されているか。 ・統括マネジメント業務や運営・維持管理を担う専門的な人材を配置するなど、充実した人材配置や組織体制、その他本事業を円滑に実施するための実施体制面での工夫について、具体的でかつ責任と役割分担が明確な体制となっているか。 ・事業の継続性に資するよう、想定されるリスクが的確に分析され、具体的かつ効果的なリスクの低減・防止策及びリスクへの対応策（保険付保を含む。）が提案されているか。 ・各業務において、自ら内容の確認・補正・改善等を図るモニタリング体制がとられているか。 	4
統括マネジメント業務	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業全体に関する十分なノウハウや、業務実績等を有する統括管理責任者及び業務責任者を配置するとともに、それをサポートする体制が構築され、事業を統括し、円滑に遂行するための方策について提案されているか。 ・事業年度ごとに提出する事業報告、会計監査報告や財務指標について業務の合理化が図られるような具体的な方策が提案されているか。 ・適切なコスト管理について、経費支出の適正化、効率化が図られるような具体的な方策が提案されているか。 	3
事業計画の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・設計費、建設費（屋内運動施設及び公園管理事務所に限る。）、工事監理費、運営費、維持管理費及び任意事業費が適切に計上され、安定的な収支計画となっているか。 ・資金調達の妥当性・確実性、財務の健全性と安定性の確保策について、具体的かつ優れた計画が提案されているか。 ・長期収支計画について、収入・支出の各項目の設定の根拠や考え方が明確かつ妥当であり、本事業の実施の基本方針と符合しているなど、全体として整合性の取れた計画が提案されているか。 	3

② 施設整備計画に関する事項（配点 37 点）

審査項目	評価の視点	配点
建築・公園計画	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の利用者が憩えるような開かれた空間・機能を配置し、訪れてみたくなる魅力的な空間デザインや快適性・利便性の高いゾーニングや動線計画となっているか。また、隣接する豊山町エリアと連携し、利用者が防災公園と豊山町エリアを円滑に往来できるような、連続性、回遊性に考慮した計画や、消防学校との一体性に配慮した計画が提案されているか。 ・建築物(屋内運動施設及び公園管理事務所)の外部・内部仕上は、長寿命化、耐久性、メンテナンス性に配慮した仕上とする等、維持管理を容易に行うことができ、運営しやすい計画となっているか。 ・屋内運動施設は、平常運用時における競技のしやすさや利用者の安全に配慮した計画となっているか。また、拠点運用時における物資の荷役作業に適したレイアウト、床荷重等について優れた計画が提案されているか。 ・防災公園(西側)エリアの広場や防災公園(東側)エリアの多目的広場等は、平常運用時により多くの利用者が見込まれる利用方法について具体的かつ優れた計画が提案されているか。また、拠点運用時における支援物資の集積スペース、支援部隊のベースキャンプといった機能を確保するための具体的かつ優れた計画が提案されているか。 ・仕上げ計画、植栽計画、トイレ計画、サイン計画、駐車場計画において、豊山町エリアとの調和、統一性、一体性の確保を図るための、豊山町等との調整方法や、意見の反映方法について、柔軟性があり、かつ優れた考え方が示されているか。 ・拠点運用時において、施設全体が整備方針や基本方針を踏まえた基幹的広域防災拠点としての機能が十分発揮されるよう、大規模激甚災害(南海トラフ地震やスーパー伊勢湾台風など)においても基幹的広域防災拠点としての機能が十分発揮できる計画となっているか。また、拠点運用時の人と車両の動き(応援部隊、災害対応車両、物資輸送車両の進入退出)を考慮したゾーニング・動線計画や、防災公園以外の施設(消防学校エリア)での車両動線を考慮し、優れた計画が提案されているか。 ・県民共有の財産として親しみやすく便利かつ安全に利用可能な公園や公共施設とするとともに、品格があり、周辺の景観との調和が図られたデザインが提案されているか。 ・愛知県の経済に寄与するため、県産材がより多く利用されているか。 ・ユニバーサルデザインに配慮した、具体的かつ優れた計画が提案されているか。 	18
構造・設備・什器・備品計画	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模激甚災害(南海トラフ地震やスーパー伊勢湾台風など)に対し、高い防災機能が発揮される具体的かつ優れた構造計画、設備計 	11

審査項目	評価の視点	配点
	<p>画、什器・備品計画であり、ライフラインが長期に途絶した場合でも拠点が維持出来るような具体的かつ優れた計画が提案されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンテナンスがしやすく、将来の改修に対して柔軟に対応できる構造計画、設備計画、什器・備品計画が提案されているか。 ・建築物については、ライフサイクルコストの最適化を図りつつ、適切に修繕、更新等を行うことを前提として、長期の耐用性能を確保することについて優れた計画が提案されているか。 ・燃料電池や太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入等によりカーボンニュートラルへの対応やSDGsを達成するための具体的かつ優れた計画が提案されているか。 	
施工計画	<ul style="list-style-type: none"> ・不測の事態や資材高騰への対応、公共側で実施する事業用地引渡計画の更新（事業用地取得、不発弾の発見、埋蔵文化財の発掘等）や公共工事（県工事及び町工事）の進捗との調整について具体的に提案されているか。 ・設計から開業までのスケジュールについて、関係機関との調整や適正な検査期間などを踏まえた実現可能なスケジュールであり、スケジュールを短縮するための工夫について具体的に提案されているか。 ・建設工事（屋内運動場及び公園管理事務所に限る。）において、資源リサイクル等の環境負荷低減を図るための工夫がみられるか。 ・建設工事（屋内運動場及び公園管理事務所に限る。）において、周辺の生活環境、道路交通への影響を最小限に抑える工夫、対策、連絡・協議体制が講じられているか。 	8

③ 開園準備・運営計画に関する事項（配点22点）

審査項目	評価の視点	配点
開園準備	<ul style="list-style-type: none"> ・開園準備（従業員研修や設備等の試運転、予約方法の整備、広報、開園式典及び内覧会等の支援）について、具体的かつ優れた方策が提案されているか。 ・従業員が防災拠点としての役割や機能を十分認識できるように、災害時等の対応マニュアルの作成について、具体的な方策が提案されているか。 	2
公園の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ等各種イベントやその他の運営業務について、各施設の稼働率を高めて地域の賑わいを創出する具体的かつ優れた方策が提案されているか。 ・事業者が主催するイベント（特に豊山町が行うイベントとの共同イベント）の企画・運営について具体的かつ優れた方策が提案されているか。 ・利用料金水準は、適切な根拠に基づき、公の施設として妥当なものとなっているか。また、利用料金の設定方法や体系は、多様な利 	12

審査項目	評価の視点	配点
	<p>用方法に対応する合理的なもので利用者保護のための独自の工夫がされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用方法の設定について、申込方法、利用手続きが利用者にとって分かり易く簡易なものとなっているか。また、利用時間区分が利用者の需要動向を踏まえた合理的な内容となっているか。 	
利用者サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者サービス向上のため、運営目標（K P I）を設定し、その達成のための利用促進策について、具体的かつ優れた方策が提案されているか。 ・満足度調査等を行い、サービスの改善を図るといった具体的な方策が提案されているか。 	4
拠点運用時及び緊急時の初動対応等	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点運用時及び緊急時の初動における避難誘導・安全管理対応について、実施体制や、対応方法等について具体的な方策が提案されているか。 ・災害時等対応マニュアルに基づく体制整備業務について、マニュアルに基づき、従業員が防災拠点の役割や機能を十分に認識できるように、従業員の育成や、研修・訓練の実施といった具体的な方策が提案されているか。 	4

④ 維持管理計画に関する事項（配点 1 2 点）

審査項目	評価の視点	配点
効率的な施設維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・平常運用時の建物や設備、公園施設の維持管理、清掃や警備等の管理業務について、効率的かつ効果的に実施され、故障や不具合等が発生した場合に利用者からの苦情が発生しないような、具体的かつ優れた対応や体制が提案されているか。 ・拠点運用時の維持管理の継続や応急復旧への対応について、様々な状況を想定した柔軟性があり実現可能な対応や体制が示され、拠点運用時に重要な設備に万が一故障や不具合等が発生した場合に、拠点の機能に影響を与えないような、具体的かつ優れた対応（未然防止策を含む）や体制が提案されているか。 	6
施設・設備の修繕・更新計画	<ul style="list-style-type: none"> ・施設や設備、什器・備品等の修繕・更新については、施設の利用者が安全、安心かつ快適に利用できる様な、具体的かつ優れた考え方が提案されているか。 ・点検、保守及び修繕の計画は、事業終了時の施設性能水準の確保を視野に入れた内容となっているか。 ・事業期間終了後も見据えて、予防保全による品質維持、長寿命化を図るとともに、修繕費の将来的なトータルコストの低減を図る長期修繕計画となっているか。 	6

⑤ 任意事業に関する事項（配点 2 点）

審査項目	評価の視点	配点
任意事業（独立採	<ul style="list-style-type: none"> ・特定事業の価値を高め、相乗効果が期待できる拠点運用時に配慮し 	2

審査項目	評価の視点	配点
算事業)	<p>た具体的かつ実現可能性の高い事業が提案されているか。</p> <p>・実施企業や事業計画など、実現可能かつ具体的な方策が提案されているか。また、事業リスクと特定事業の関係が示されているか。</p>	

(3) 最優秀提案の選定

入札価格の評価による点数(15点満点)と性能等に関する評価点数(85点満点)を合計して総合評価点を算出し、総合評価点が最大となる提案を最優秀提案とします。

総合評価点(100点満点)

= 入札価格評価点数(15点満点) + 性能等に関する評価点数(85点満点)

5 審査結果

(1) 入札価格評価点

応募グループの入札価格について、4 (1) に示す方法で評価し、得点化した結果、入札価格評価点は表5のとおりでした。なお、本項以降、各応募グループを登録受付番号で表記又は呼称します。

表5 入札価格評価点

登録受付番号	【0228】	【0237】
入札価格（税抜き）	6,662,040,860 円	5,958,154,000 円
入札価格評価点	13.42 点	15.00 点

(2) 性能等に関する評価点

応募グループの提案内容について、4 (2) に示す方法で評価し、採点した結果、性能等に関する評価点は表6のとおりでした。評価点の詳細は表7を参照してください。

性能等に関する評価の最低点が42.5点（要求水準を満たしている程度という評価）であることを勘案すると、2応募グループの提案内容は、県の要求水準を十分に上回っていると評価できます。

表6 性能等に関する評価点

登録受付番号	配点	【0228】	【0237】
性能等に関する評価点	85 点	46.96 点	47.57 点

表7 性能等に関する評価点

審査項目		配点	【0228】	【0237】
1 計画全体に関する事項	(1) 本事業実施の基本方針	2	1.14	1.14
	(2) 実施体制、事業の継続性	4	2.18	2.43
	(3) 統括マネジメント業務	3	1.54	1.75
	(4) 事業計画の妥当性	3	1.54	1.54
	小 計	12	6.40	6.86
2 施設整備計画に関する事項	(1) 建築・公園計画	18	10.64	10.36
	(2) 構造・設備・什器・備品計画	11	6.46	6.29
	(3) 施工計画	8	4.11	4.03
	小 計	37	21.21	20.68
3 開園準備・運営計画に関する事項	(1) 開園準備	2	1.07	1.11
	(2) 公園の運営	12	6.71	7.07
	(3) 利用者サービス	4	2.21	2.14
	(4) 拠点運用時及び緊急時の初動対応等	4	2.14	2.21
	小 計	22	12.13	12.53
4 維持管理計画に関する事項	(1) 効率的な施設維持管理	6	3.11	3.11
	(2) 施設・設備の修繕・更新計画	6	3.07	3.21
	小 計	12	6.18	6.32
5 任意事業に関する事項	(1) 任意事業(独立採算事業)	2	1.04	1.18
	小 計	2	1.04	1.18
合 計		85	46.96	47.57

(3) 最優秀提案者の選定

入札価格評価点と性能等に関する評価点を合計した総合評価点は表8のとおりであり、総合評価点が最も高い【0237】の提案を最優秀提案としました。

委員会は、総合評価点が最も高い提案を行ったあいち防災パートナーを最優秀提案者として選定しました。また、【0228】を第2位に決定しました。

表8 総合評価点

区 分	【0228】	【0237】 あいち防災パートナー
入札価格評価点	13.42 点	15.00 点
性能等に関する評価点	46.96 点	47.57 点
総合評価点	60.38 点	62.57 点

6 審査講評

応募グループの提案内容について、落札者決定基準の審査項目に従い、講評いたします。

1 計画全体に関する事項

計画全体に関する事項として 12 点を配点し、次の 4 項目について審査を行いました。

(1) 本事業実施の基本方針

【0228】は、次の点を評価しました。

- ・平常時の賑わい（スポーツ教室・イベント、防災イベント等）と拠点機能の両立を狙いつつ、神明公園との一体感を持たせる計画となっている。

【0237】は、次の点を評価しました。

- ・日常利用（スポーツ・健康・憩い）と災害対応を統合するコンセプトが明確であり、豊山町エリア等との連携による地域活性化や、拠点運用時の役割（ベースキャンプ、物資ターミナル）を意識した計画となっている。

(2) 実施体制、事業の継続性

【0228】は、次の点を評価しました。

- ・実績を有する企業群で S P C を構成し、設計から運営・維持管理までの役割分担がされている。

【0237】は、次の点を評価しました。

- ・地元協力企業からの要員増員などについて具体的に提案されている。
- ・本事業における代表的なリスクが体系的に整理され、対応策が提案されている。

(3) 統括マネジメント業務

【0228】は、次の点を評価しました。

- ・ P F I 事業及び公園の運営の実績が豊富であり、ライフサイクルコスト低減（メンテナンス性向上、汎用品の採用等）に配慮している提案となっている。

【0237】は、次の点を評価しました。

- ・ P F I 事業に精通した企業の協力体制が提案されており、経験のある統括管理責任者等が配置される計画となっている。
- ・事業報告や会計監査報告の合理化が図られた提案となっている。

(4) 事業計画の妥当性

いずれの応募グループも、資金調達コストを抑制し、財務の健全性・安定性等が確保される点を評価しました。

2 施設整備計画に関する事項

施設整備計画に関する事項として 37 点を配点し、次の 3 項目について審査を行いました。

(1) 建築・公園計画

【0228】は、次の点を評価しました。

- ・利用者のための日陰や休憩スペースを確保するとともに、動線に変化を持たせ、多様な機

能を導入するなど、平常運用時の賑わい創出に資する工夫がされている。

- ・屋内運動施設の内・外部仕上げはメンテナンス性に配慮した耐久性のある資材が用いられており、ライフサイクルの長い資材の活用による維持補修等の経済性にも配慮した計画となっている。
- ・屋内運動スペースにスポット空調を設置することを提案している。

【0237】は、次の点を評価しました。

- ・基本コンセプトである「防災公園」を軸とした提案がされており、動線がシンプルで緊急時の車両動線に配慮するなど、拠点運用時を見据えた計画となっている。
- ・変形を抑制した耐震設計が行われているなど、耐震性を重視した計画となっている。
- ・駐車場の容量が大きく、イベント時の受入れや利便性に優位性がある。
- ・消防学校の北側及び東側に園路が設けられており、消防学校への視認性が確保されている。
- ・公式大会と同等規模の競技を行うことができるサッカーコートを整備し、トップアスリートによるスポーツイベントやセミナー、スポーツ教室を開催する点や、各エリアをつなぐプロムナードを整備し、キッチンカーイベントを開催する点など、運営を見据えた設計がされている。

(2) 構造・設備・什器・備品計画

【0228】は、次の点を評価しました。

- ・創エネの実施に加え、ZEB認証取得が提案されている。

【0237】は、次の点を評価しました。

- ・設備計画について、ライフライン途絶を想定し、防災活動拠点としての機能を維持する計画が提案されている。

(3) 施工計画

- ・いずれの応募グループも不測の事態や資材高騰への対応、設計から開園までの実現可能なスケジュール、環境負荷低減を図るための取り組みが提案されている点を評価しました。

3 開園準備・運営計画に関する事項

開園準備・運営計画に関する事項に関する事項として22点を配点し、次の4項目について審査を行いました。

(1) 開園準備

- ・いずれの応募グループも従業員研修や、予約方法の整備、広報、開園式典等の支援、災害時等の対応マニュアルの作成方法が提案されている点を評価しました。

(2) 公園の運営

【0228】は、次の点を評価しました。

- ・豊山町と連携したイベント等、多様なイベントを実施する計画としており、地域活性化と防災啓発の両立を目指している。

【0237】は、次の点を評価しました。

- ・来園のきっかけづくりや定着に向けた計画が提案されているとともに、多様なイベントを具体的に計画している。

(3) 利用者サービス

- ・いずれの応募グループもK P I 達成のための利用促進策及びサービスの改善策が提案されている点を評価しました。

(4) 拠点運用時及び緊急時の初動対応等

- ・いずれの応募グループも拠点運用時及び緊急時の初動における避難誘導・安全管理対応や、災害時等対応マニュアルに基づく体制整備計画が提案されている点を評価しました。

4 維持管理計画に関する事項

維持管理計画に関する事項として12点を配点し、次の2項目について審査を行いました。

(1) 効率的な施設維持管理

- ・いずれの応募グループも実績やノウハウ、ネットワークを有する事業者による、迅速性、臨機対応性のある維持管理体制が構築されている点を評価しました。

(2) 施設・設備の修繕・更新計画

- ・いずれの応募グループも不具合が発生する前に定期的なサイクルで交換等を行う予防保全を基本とした、合理的な点検・保守・修繕の実施により、維持管理費の将来的なトータルコストの削減が図られる点を評価しました。

5 その他

任意事業に関する事項として2点を配点し、次の1項目について審査を行いました。

(1) 任意事業（独立採算事業）

【0228】は、次の点を評価しました。

- ・防災拠点としての付加価値が提案され、相乗効果が期待できるとともに、財務計画を伴う事業計画が示されており、実現性が期待できる。

【0237】は、次の点を評価しました。

- ・防災イベントや防災系スタートアップ企業等による実証実験、消防学校と連携するイベントを始め、多様なイベントを任意事業として位置づけるとともに、実現性のある収支・財務計画となっている。

7 総評

2応募グループの事業提案は、いずれも要求水準を満たしており、本事業の目的とする、平常運用時には防災公園として広く県民の利用を図るとともに、拠点運用時に活動要員の集結・ベースキャンプ機能や支援物資の中継・分配機能を確保することが十分に期待できる内容となっています。

委員会において、落札者決定基準に基づいて厳正かつ公正に審査を行った結果、最優秀提案となったあいち防災パートナーの提案は、本事業の目的及び事業内容を十分に把握し、堅実な事業運営が期待できる内容であり、とりわけ、拠点運用時を意識した建築・公園計画や、公園の運営計画等の提案が評価され、優れた提案にとりまとめられていると判断されました。

なお、最優秀提案者に選定された前田建設工業株式会社中部支店を代表企業とするあいち防災パートナーに対しては、今後、同グループが、県と特定事業契約を締結し、本事業を実施するに際して、委員会が評価した提案内容を確実に遂行することはもとより、近年の災害の教訓等を踏まえて年々新たな知見が蓄積され、制度の充実につながっている防災行政の特徴を踏まえ、特に次の諸点について県と十分に協議をし、柔軟かつ適切に対応されることを期待します。

○基幹的広域防災拠点の機能や運営支援等に関すること

- ・ 平常時と拠点運用時の切り替えにおける県と事業者との役割分担を明確にするとともに、従業員が十分な防災知識と防災意識を育むことができるよう努めること。
- ・ 組織としての知識や経験の蓄積・継承にも十分配慮し、経験豊富なメンバーによる安定した体制を維持しつつ、災害対応力の維持・向上に責任をもって取り組むこと。
- ・ 事業期間を通じて、代表企業を中心にグループ内部での連携を十分に行い、SPCを運営する体制を確実なものとする。
- ・ 繰り返される地震等に耐え、継続的に使用可能な防災拠点となるよう、構造・基礎等の決定に当たっては、県と十分に協議すること。
- ・ 特に屋内運動施設については、拠点運用時に必要となる機能が確保できるよう、県と十分に協議し、柔軟に対応すること。
- ・ 拠点運用時における物資輸送トラックの動線について、物流専門家の意見も踏まえながら、県と十分に協議し、適切な動線を確保できる計画となるよう、柔軟に対応すること。
- ・ 防災公園（西側）エリアと防災公園（東側）エリアを結ぶ動線について、県、豊山町を始め関係機関と十分に協議を行い、具体的な横断者の事故防止対策を講じること。
- ・ ユニバーサルデザインへの配慮を始め、公園としてのさらなる魅力向上について、県と十分に協議し、柔軟に対応すること。

○豊山町が行う業務との調整に関すること

- ・ サービスや機能、デザイン等において豊山町エリアとの一体性を確保し、連携を図ることができるよう考慮して計画するために、設計段階から速やかに会議体を設置し、各種調整事項を整理すること。

○県が行う業務との調整に関すること

- ・ 第1期・消防学校事業や県が直接発注する造園・土木工事を始め、県が行う各業務との調整（スケジュール、境界部分、運用・維持管理等）を適切に行うこと。
- ・ 大規模災害時にライフラインが途絶した場合でも、第1期・消防学校と一体として電気・水・通信等を確保し、防災活動拠点としての機能を維持すること。

最後に、2つの応募グループから提出をいただきました事業提案書は、本事業の趣旨を十分理解した内容であり、委員会は両応募グループに対し、短期間のうちに本事業の目的を的確にとらえた事業提案をまとめ上げたことについて、その積極的な姿勢と熱意を高く評価しており、重ねてここに深く感謝を申し上げます。